

令和8年度 厚木地区及び相模原地区 食料品製造業労働災害防止連絡会議を開催しました

厚木労働基準監督署
相模原労働基準監督署

厚木労働基準監督署および相模原労働基準監督署では、令和8年8月28日、食料品製造業における労働災害防止対策の推進を目的として、「食料品製造業労働災害防止連絡会議」を開催いたしました。



厚木労働基準監督署長から会議参加者の皆さんへの開催挨拶

この連絡会議は、食料品製造業において依然として多く発生している転倒災害や腰痛災害、機械設備によるはさまれ・巻き込まれ災害などの労働災害を防止するため、管内事業場の事業者や安全衛生担当者の皆様を対象に、労働災害発生状況や行政の取組を紹介するとともに、企業における効果的な安全衛生活動の好事例を共有し、各事業場における自主的な安全衛生管理活動の促進を図ることを目的として開催したものです。

当日は22名の参加者が集まり、講演や事例発表を通じて労働災害防止に関する知識と理解を深めるとともに、安全で健康に働くことのできる職場づくりに向けた意識の高まりを感じる有意義な会議となりました。

労働基準監督署より労働災害発生状況の説明



厚木地区事業場（好事例発表）

サントリーコーヒーロースタリー株式会社 阿部 嘉毅氏
「安全職場の実現に向けた安全活動の推進」



発表では、作業前 KY 活動の徹底、ライフセービングルールの周知、安全パトロール、ハザードマップによるリスク共有、VR 機器を活用した危険体感教育など、安全意識の向上とリスク低減に向けた様々な取組が紹介されました。

参加者は、他社の実践的な安全衛生活動について理解を深め、それぞれの職場における労働災害防止対策の推進につながる有意義な機会となりました。

「高年齢労働者の安全確保に向けたAI アプリの紹介・体験」

株式会社AYUMI BIONICS 代表取締役 田脇 裕太氏

「AI による安全管理の最前線 —

従業員の労災リスクは「測れる」時代へ — AYUMI Scan」



株式会社AYUMI BIONICSの田脇 裕太氏から、高年齢労働者の増加に伴う転倒・腰痛災害の現状や法改正の動向、体力測定を活用した労働災害防止対策について講演が行われました。また、労働災害防止対策として、体力や身体機能の把握の重要性、体力測定結果を活用したリスク分析や職場改善の手法について紹介されるとともに、スマートフォンを活用した体力測定システムの活用事例が紹介されました。



今回の連絡会議では、管内における労働災害の発生状況やその課題について情報共有を行うとともに、事業場における安全衛生活動の好事例、高年齢労働者が安全かつ健康に働き続けられる職場づくりに向けた最新の取組やデジタル技術の活用事例について、講演及び体験プログラムを通じて理解を深めることができました。

(R0809)